

地方議会活性化シンポジウム2023

配布資料

日時：令和5年11月13日（月） 14：00～17：00

会場：イイノホール + オンライン配信

主催：総務省

共催：全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会

◇目 次◇

| | |
|---------------------------------|----|
| ■プログラム | 1 |
| ■基調講演 資料 | 2 |
| 谷口 尚子 氏 | |
| (慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授) | |
| ■パネルディスカッション 資料 | 12 |
| 鵜川 和彦 氏 (北海道栗山町議会議長) | 13 |
| 狩野 浩志 氏 (群馬県議会議員) | 22 |
| 菅沼 芳徳 氏 (静岡県御殿場市議会議長) | 31 |
| 益子 純恵 氏 (栃木県那珂川町議会議長) | 47 |

◇プログラム◇

将来の地方議会を担うのは誰か？
—多様な人材が参画する地方議会の実現—

14 : 00 開会・総務省挨拶

14 : 05 基調講演

谷口 尚子 氏

(慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授)

15 : 05 休憩

15 : 20 パネルディスカッション

【コーディネーター】

只野 雅人 氏 (一橋大学大学院法学研究科教授)

【パネリスト (五十音順)】

鵜川 和彦 氏 (北海道栗山町議会議長)

狩野 浩志 氏 (群馬県議会議員)

菅沼 芳徳 氏 (静岡県御殿場市議会議長)

辻 陽 氏 (近畿大学法学部教授)

益子 純恵 氏 (栃木県那珂川町議会議長)

17 : 00 閉会

◆ 基調講演 ◆

谷口 尚子 氏

慶應義塾大学大学院

システムデザイン・マネジメント研究科教授

将来の地方議会を担うのは誰か？

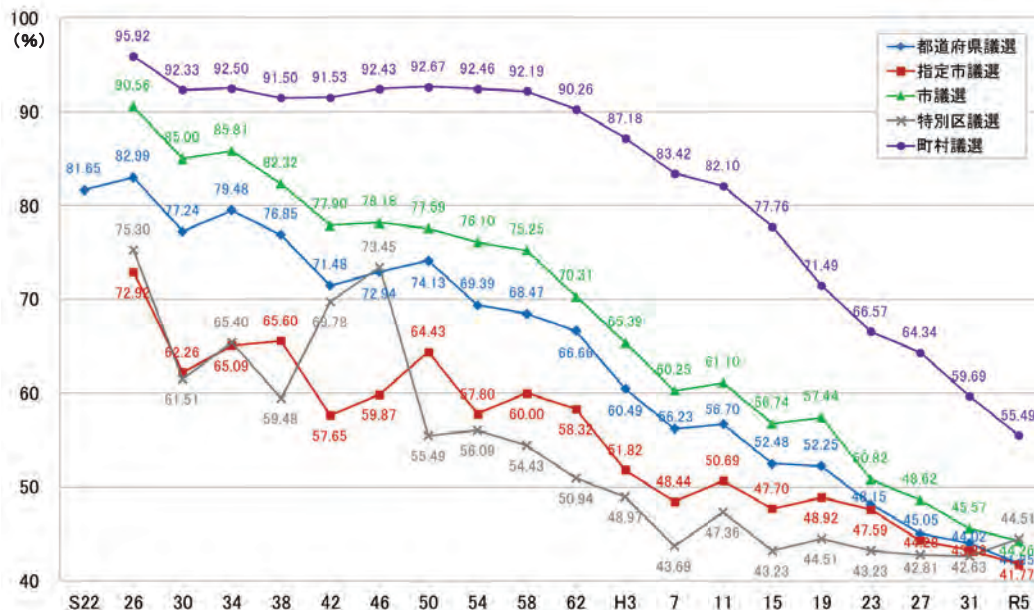
—多様な人材が参画する地方議会の実現—

谷口尚子（慶應義塾大学）



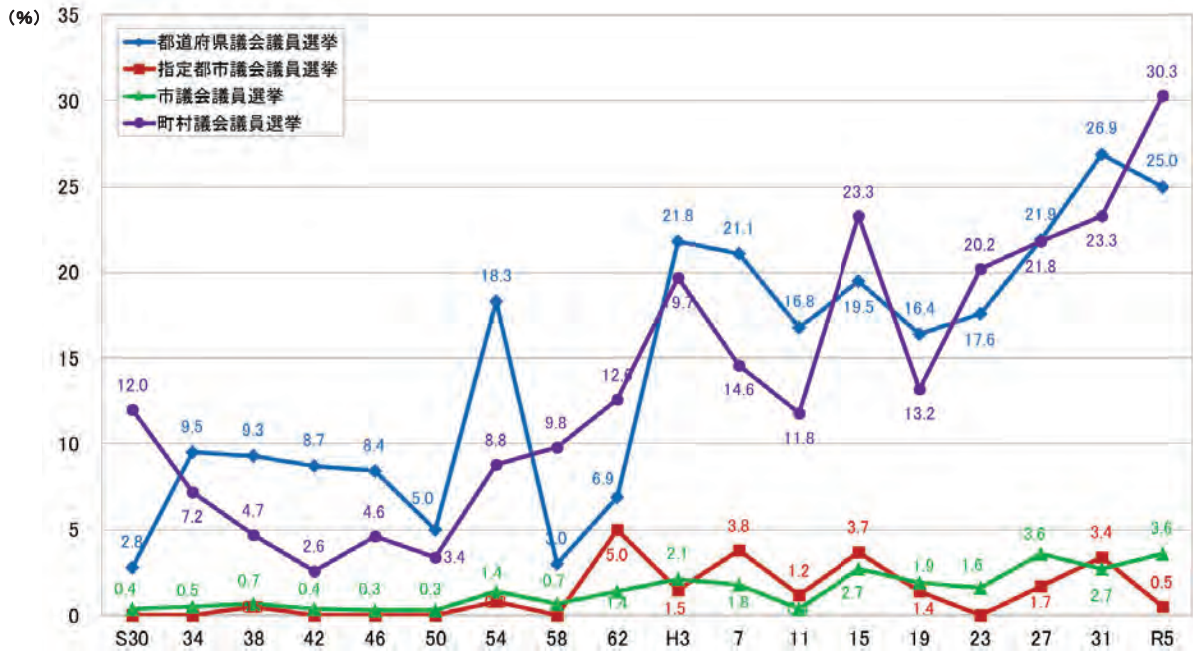
1 我が国の地方議会の課題

(1) 投票率の低下: 統一地方選挙



出所: 総務省「地方選挙結果調」等を基に作成。
注: 昭和22年の市区町村議選の内訳は調査していない。

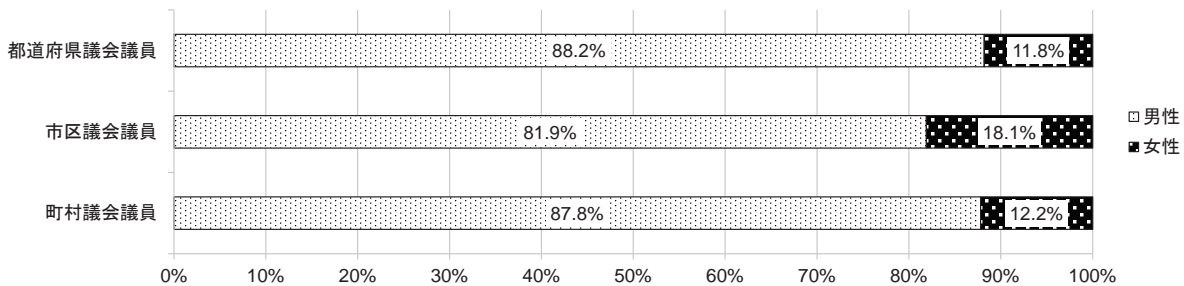
(2) 無投票当選の増加



出所：総務省「地方選挙結果調」等を基に作成。
 注1：第1回、第2回統一地方選挙の際は調査を実施せず。
 注2：市については、東京都特別区を除く。

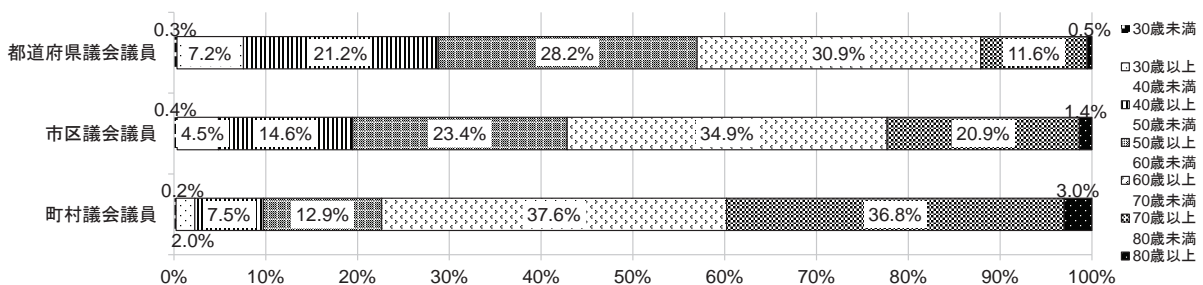
(3) 議員の属性の偏り

○ 男女の比率



出典：総務省「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調」(令和4年12月31日現在)

○ 年齢別の状況



出典：全国都道府県議会議長会「都道府県議会議要」(令和元年7月1日現在)
 全国市議会議長会「市議会議員の属性に関する調」(令和4年7月集計)
 全国町村議会議長会「町村議会実態調査結果の概要」(令和4年7月1日現在)

(4) 地方議会の課題をどう克服するか？

○地方議会の停滞：

投票率・競争性・代表性の低さ、議員のなり手不足
→従来の議員像に限らない多様な人々の参入が必要

○住民の意識：

- ・「地方議員は何をしているかわからない」 56.1%
- ・「いてもいなくても同じだ」 34.9% （早大マニフェスト研調査、2014）
- ・日頃はあまり関心がないが、スキャンダルや不祥事があると否定的評価
- ・有効性感覚(=「議会・議員は私たちの代表だ」「議会・議員は私たちの思い・考えを実現してくれる」)が低い

⇒議会・議員の「多様性」「応答性」を高める必要がある

2 地方議会の多様性を増す方策

(1) 住民の理解や関心を増やす

○議会による広報活動：

各種メディアを使った議会活動報告、「議会ツアー」「出張議会・委員会」「こども議会」「学生議会」などのイベント開催、議会のホームページに若者向け・女性向けのサイト追加、コロナ禍によってオンライン広報が拡充

○主権者教育：

高校・大学における教育、議員との交流、選管の取り組み
→政治関心・参加意欲増、地域愛着
18歳投票率は高いが、その後の下降をどう食い止めるか



| 連携協働したいテーマ(選択率) | 市街地整備 | 福祉・健康増進 | 防災・防犯 | 産業振興 | 交通・道路 | 文化・伝統・芸術 |
|-----------------|-------|---------|-------|-------|-------|----------|
| 20代男性 | 28.6% | 28.6% | 28.6% | 7.1% | 35.7% | 7.1% |
| 30・40代男性 | 33.1% | 21.8% | 35.2% | 22.5% | 22.5% | 12.0% |
| 50・60代男性 | 27.2% | 39.9% | 47.8% | 14.9% | 26.8% | 20.6% |
| 70代以上男性 | 37.7% | 42.6% | 60.7% | 18.0% | 24.6% | 31.1% |
| 20代女性 | 50.0% | 33.3% | 16.7% | 16.7% | 16.7% | 33.3% |
| 30・40代女性 | 30.6% | 41.3% | 31.4% | 20.7% | 24.8% | 24.8% |
| 50・60代女性 | 29.5% | 47.5% | 50.8% | 19.7% | 24.6% | 24.6% |
| 70代以上女性 | 7.7% | 61.5% | 38.5% | 15.4% | 30.8% | 0% |

| 連携協働したいテーマ(選択率) | 子育て・教育 | 生涯学習・スポーツ | 住環境・自然保護 |
|-----------------|--------|-----------|----------|
| 20代男性 | 0% | 14.3% | 14.3% |
| 30・40代男性 | 20.4% | 16.9% | 19.0% |
| 50・60代男性 | 21.5% | 18.4% | 32.5% |
| 70代以上男性 | 14.8% | 24.6% | 42.6% |
| 20代女性 | 58% | 25.0% | 17% |
| 30・40代女性 | 40.5% | 22.3% | 24.0% |
| 50・60代女性 | 27.9% | 16.4% | 28% |
| 70代以上女性 | 15% | 31% | 31% |

○住民の属性によって異なる関心：
自治体と連携・協働したいテーマ
(谷口研調査、2018)

(2) 地方議員職に関心があるのは？

○都道府県議会議長会 全国住民調査(2021)

<全体の傾向>

- ・男性の方が関心を持つ
- ・団体活動経験、地域貢献意欲あり
- ・「議会は難しくて分からない」とは思っていない
- ・議員職は重要
- ・デジタル技術活用に関心
- ・若者がなりやすいように希望

| | 標準化係数 |
|----------------------------|------------|
| 性別(男性=1, 女性=2) | -0.106 *** |
| 年齢 | -0.014 |
| 世帯年収 | 0.008 |
| 都市化度 | 0.030 |
| 居住地域に対する満足度 | -0.033 |
| 町内会・自治会等に参加 | 0.001 |
| 自主的な団体の活動に参加 | 0.112 *** |
| 地域発展・まちづくりへの貢献意欲 | 0.140 *** |
| 議会に関する知識量 | 0.033 |
| 都道府県議会への信頼度 | -0.029 |
| 議会は住民を代表するものである | 0.050 |
| 議会でやっていることは難しくてよく分からない | -0.060 * |
| 議会はデジタル技術をもっと導入すべき | 0.033 |
| 議員が議会にオンラインで出席することも認めて良い | -0.012 |
| 都道府県議会議員の仕事は重要だ | 0.065 * |
| 都道府県議会議員は忙しい | 0.014 |
| 都道府県議会議員の報酬は多額だ | -0.035 |
| 都道府県議会議員の人数は多すぎる | 0.016 |
| 都道府県議会議員はデジタル技術を十分活用 | 0.164 *** |
| 議員のなり手不足は問題となっている | 0.027 |
| 議員は住民の意思を適切に把握するべきだ | -0.060 |
| 議員は議会への出席を議員以外の仕事より優先するべきだ | 0.041 |
| 議員にはもっと若者でもなりやすいようにするべきだ | 0.223 *** |

(3) 立候補のハードルを下げる

○議員職に関する住民の意識

(都道府県議会議長会 住民調査、2021)

・関心を持つ男性は2割強、女性は1割強

・重視する点:

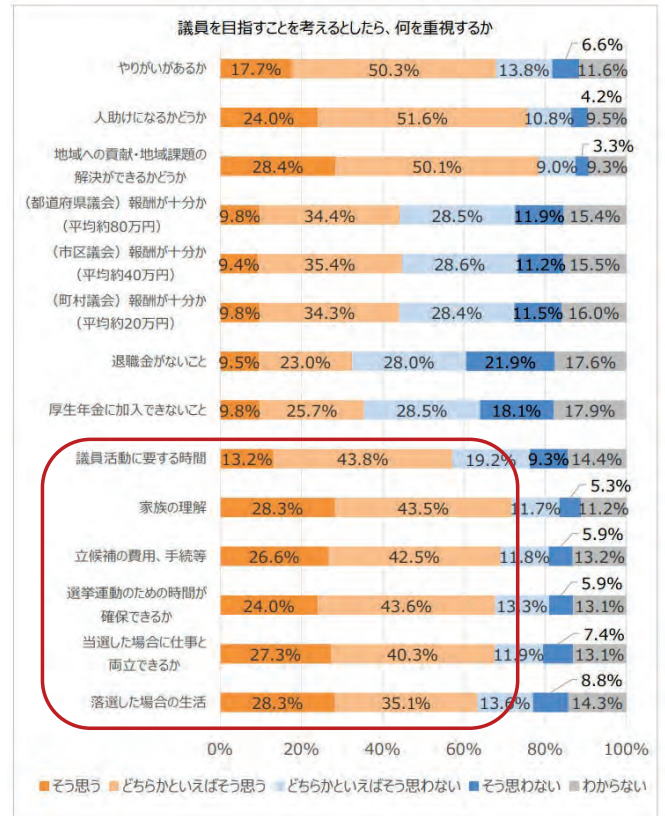
「やりがいがあるか」「人助けになるか」

「地域貢献・地域課題解決ができるか」

・懸念する点:

経済的問題(立候補費用・報酬水準・落選時の生活の心配など)、家族の理解や仕事との両立、議員活動に要する時間など

⇒現在の暮らしとの擦り合わせ



○議員職に関心を寄せる住民は一定程度存在するものの、コスト(費用、時間など)やリスク(落選、家族への迷惑など)への心配は大きいため、これらを乗り越えるための知恵や工夫、支援が必要

○候補者への支援策

- ・議員職に関心を持つ人向けの研修、若者・女性候補者への支援策
- ・選挙活動リソース支援

(3) 議会の活動のあり方を変える

○「多様な人材が参画し住民に開かれた地方議会の実現に向けた対応方策に関する答申」(総務省・地方制度調査会、2023)

○活動スタイルを柔軟に

- ・企業や組織で働く人が選挙・議会活動のために休暇を取ることへの理解
- ・議会・委員会の通年開催、休日・夜間開催など運営方法の柔軟化

○オンライン化

- ・議員活動の空間的・時間的制約を減じる
→子育てや介護などに忙しい議員の参加を促進
若い世代ほどデジタル化に親和的なので参画の足掛かりとなる可能性
- ・都道府県議会議長会 議員調査(2021)
議員の9割が「議員や議会がデジタル技術を活用することは重要である」、過半数が「デジタル技術の活用が自身の意見表明や住民の意見聴取、調査研究等に役立っている」と回答



(4) 制度や仕組みの改革

○「地方議会・議員のあり方に関する研究会」(総務省、2020)

- ・兼業・請負・兼職に関する制約の緩和、地方議員の報酬水準の引き上げ、年金制度への加入といった点を、議員のなり手不足解消策として検討

○選挙における工夫

- ・多様な候補者を擁立するグループ・政党への評価
- ・連記制によって選択肢を増やす
- ・関係・交流人口→政策策定過程への参画の経験

(5) 議会・議員の意識改革

○地方議会の役割の変化

- ・地域の成長促進や利害調整
- 少子高齢化対策・インフラ維持・行政や施策の効率化といった「課題解決」
- ・リソース不足→EBPMによる優先順位、調査・政策立案能力
- ・住民を政治・行政サービスの「お客様」として見なすのではなく、
難しい課題に取り組む際の「協力者」と見なす

○議会内意識改革

- ・多様な議員の参入障壁となる様々なハラスメントの防止
- 相談窓口などの設置、議会の信頼性の向上

まとめ： 地方議会の「存在意義」を高めるために

○議会自身で改革することのジレンマ：

- ・議員：候補者増はライバル増、多様な議員との仕事は・・・
- ・住民：「主権者」なのに「自分事」として捉えていない
とはいえ、若年層には危機感も

○ジレンマの解法

- ・「地方議会の存在意義」が小さくなるのは共通の損失
議会も自治体も「生き残り」を考える時代
多様な住民と「共に歩む」覚悟を持つ



<谷口尚子プロフィール>



- ・1970年広島県生まれ。
- ・慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程単位取得退学、博士(法学)。
- ・ミシガン大学客員研究員、東京工業大学准教授等を経て現職。
- ・専門は政治学・政治過程論(選挙分析、政策比較分析、有権者心理・行動分析等)。
- ・内閣府「地方分権改革有識者会議」議員(2013-現在)
総務省「第31-33次地方制度調査会」委員(2018-現在)
総務省「地方議会に関する研究会」委員(2014-2015)
全国都道府県議会議長会「デジタル化専門委員会」委員(2021-現在)
日本学術会議第一部会員・政治学委員会政治過程分科会委員長(2020-現在)
日本政治学会・日本選挙学会・公共選択学会各理事(現在)。

◆パネルディスカッション◆

【コーディネーター】

只野 雅人 氏 （一橋大学大学院法学研究科教授）

【パネリスト】

鵜川 和彦 氏 （北海道栗山町議会議長）

狩野 浩志 氏 （群馬県議会議員）

菅沼 芳徳 氏 （静岡県御殿場市議会議長）

辻 陽 氏 （近畿大学法学部教授）

益子 純恵 氏 （栃木県那珂川町議会議長）

パネルディスカッション 資料

鵜川 和彦 氏

北海道栗山町議会議長



「議員の学校」について

～議員のなり手対策事業～

栗山町議会

●栗山町議会の概要

● 栗山町議会の概要

- 議員定数（任期満了時期 令和9年4月30日）
 条例による定数 11人 現員数 11人
 ※令和4年議会定例会6月定例会議において1名減の11名に改正する条例可決

- 常任委員会（任期2年）
 総務教育常任委員会 6人
 産業福祉常任委員会 6人
 広報広聴常任委員会 10人

- 議員の党派別
 日本共産党 1人
 公明党 1人
 無所属 9人

- 会派 なし

- 会期 通年（5月～4月）

※年代別・性別構成

（令和5年5月1日現在）

| | 50歳未満 | 50～59歳 | 60～69歳 | 70歳以上 | 合計 | 平均 | 最高 | 最低 |
|----|-------|--------|--------|-------|-----|-------|-----|-----|
| 男 | 3人 | 3人 | 4人 | 0人 | 10人 | 56.3歳 | 69歳 | 40歳 |
| 女 | 0人 | 0人 | 0人 | 1人 | 1人 | 79歳 | 79歳 | 79歳 |
| 合計 | 3人 | 3人 | 4人 | 1人 | 11人 | 58.4歳 | 79歳 | 40歳 |

3

● 栗山町議会の概要

- 議員報酬

| 区分 | 報酬月額 | 適用 | 期末手当 |
|-----|----------|-----------|---------------------|
| 議長 | 300,000円 | 平成11年4月1日 | 年間 440/100 15%加算 |
| 副議長 | 239,000円 | | |
| 委員長 | 212,000円 | | |
| 議員 | 196,000円 | | |

- 政務活動費
 金額 月額20,000円（×在職月分）
 支給方法 四半期ごとの後払い方式

- 議会費予算
 令和5年度当初予算6,413万7千円（一般会計予算の0.62%）

4

● 「議員の学校」について ～議員のなり手対策事業～

5

● 議員のなり手対策事業

議員の学校

● 発 端

平成27年・平成31年の2度にわたり町議会議員選挙がなかった。（無投票で当選）

議員選挙時の議員定数・投票・人口の推移

| | 令和5年 | 平成31年 | 平成27年 | 平成23年 | 平成19年 | 平成15年 | 平成11年 | 平成7年 |
|------------|----------|---------|----------|----------|----------|---------|---------|---------|
| 議員定数 | 11人 | 12人 | 12人 | 13人 | 13人 | 18人 | 20人 | 22人 |
| 立候補者数 | 14人 | 12人 | 12人 | 15人 | 15人 | 21人 | 23人 | 22人 |
| 投票率 | 63.66% | 無投票 | 無投票 | 71.77% | 76.98% | 80.60% | 83.49% | 無投票 |
| 最高得票数 | 768.163票 | － | － | 1,038票 | 928票 | 786票 | 838票 | － |
| 最低得票数 | 168票 | － | － | 409票 | 457票 | 323票 | 285票 | － |
| 人口 | 11,006人 | 11,762人 | 12,502人 | 13,326人 | 14,120人 | 14,799人 | 15,436人 | 15,604人 |
| 議員1人当たりの人口 | 1,000.5人 | 980.2人 | 1,041.8人 | 1,025.1人 | 1,086.2人 | 822.2人 | 771.8人 | 709.3人 |

6

全国に先駆けて「議会基本条例」を制定した栗山町議会としては由々しき事態！！

なぜ、議員のなり手がいないのか？

調査

栗山町議会議員の報酬と定数に関する調査特別委員会を設置（令和元年6月）

- 小委員会設置 ～
 - ・報酬と定数を考える小委員会
 - ・なり手問題を考える小委員会

7

議員の報酬と定数に関する調査特別委員会

●特別委員会の主な経過

| 年度 | 内容 |
|-------|--|
| 令和元年度 | 4回開催 ・参考人：首都大学東京准教授 長野 基氏、山梨学院大学教授江藤俊昭氏から意見聴取 |
| 令和2年度 | 8回開催（報酬と定数を考える小委員会 3回、なり手問題を考える小委員会 4回、全体 1回） ・参考人：北海道大学名誉教授 神原 勝氏から意見聴取 ・各小委員会では、議会モニターから意見聴取 |
| 令和3年度 | 6回開催（報酬と定数を考える小委員会 1回、なり手問題を考える小委員会 2回、全体 3回） ・各小委員会では今後の方向性や議会モニターからの意見のまとめ ・全体で自由討議 |
| 令和4年度 | 11回開催（全体 11回） ・中間報告まで4回開催（うち2回自由討議） ・6月定例会議において中間報告 ・報告まで7回開催（うち3回自由討議） ・12月定例会議において報告 |

町民からの
意見聴取

- ・議会モニター会議
- ・議会報告会（3会場）
- ・一般会議（14団体）
- ・パブリックコメント

8

なり手問題を考える小委員会

●なり手不足の問題点と対応策

- ・住民への周知 ～ 広報活動の強化、住民参加の充実
- ・人材育成 ～ 児童生徒の興味・関心を高める
 - 小中高一貫キャリア教育、学校行事へ参加し啓発活動
 - 若年層へのアプローチ
 - 若者、女性等をターゲットにした出前報告会
 - 議員を志す方の受け皿**
 - 後継者育成のための議員アカデミーなどの講座
 - 議員を輩出する地域や組織の維持醸成
 - なり手の発見・育成、活動母体の維持又は醸成づくり
- ・議員活動の環境整備 ～ 多様な議員の環境整備

9

議員の報酬と定数に関する調査特別委員会

●結 論

- ①報酬 → 維持
- ②定数 → 1名減 (12名→11名 令和5年4月選挙より)
- ③なり手不足 → 議会や議員に対する理解や魅力を伝える取り組みをしましょう
- 議会として次世代の議員を発掘・育成する取り組みをしましょう



なり手不足の解消に向けた具体的な取り組み → **議会改革推進会議**へ

議員の学校を開校しよう！

(令和5年2月～3月に開校)



10

【参考】 議員報酬と定数について

1. 議員報酬改正の経過

| 年 | 議長 | 副議長 | 委員長 | 議員 |
|-------|---------|---------|---------|---------|
| 平成元年 | 224,000 | 179,000 | 166,000 | 155,000 |
| 平成6年 | 273,000 | 215,000 | 198,000 | 186,000 |
| 平成11年 | 300,000 | 239,000 | 212,000 | 196,000 |

2. 議員定数改正の経過

| 年 | 定数（人） | 経 過 |
|-------|-------|--------------------------------------|
| 昭和24年 | 26 | 町制施行と同時に村議会議員がそのまま町議会議員に移行 |
| 昭和34年 | 30 | 減数条例が廃止 |
| 昭和38年 | 26 | 4人減員する条例が制定 |
| 昭和46年 | 22 | 人口2万人を割り、現行条例が自然消滅 |
| 昭和63年 | 22 | 議員定数調査特別委員会で審査、現状維持 |
| 平成 9年 | 20 | 議員定数調査特別委員会で審査 |
| 平成14年 | 18 | 町行財政改革推進委員会の中間答申から、議員定数調査特別委員会を設置し審査 |
| 平成16年 | 13 | 合併協議に伴い定数減 |
| 平成23年 | 13 | 地方自治法改正により町独自で議員定数を定めることができるようになる |
| 平成25年 | 12 | 議員定数問題調査委員会で審査 |
| 令和5年 | 11 | 議員の報酬と定数に関する調査特別委員会で審査 |

11

● 議員のなり手対策事業

議員の学校

● 議員の学校の目的

議員の後継者育成として議会や議員に関心や志のある町民等を発掘、育成し、もって、議員のなり手不足の課題の解決に向けた一助として取り組むもの。

● 議員の学校のカリキュラム

| 時 間 | 内 容 |
|-------|---|
| 1 時間目 | 議会のキホン ～議会と議員の役割について～ ①議院内閣制と二元代表制（国会と地方議会の違い） ②町村議会と議員の役割・権限について ③議会運営の実際 ④一般質問と反問権 ⑤委員会制度 ⑥政務活動費と議員の資質向上 ⑦豊かな議会づくり～栗山町議会の議会改革の取り組みと議会基本条例について |



12

● 議員のなり手対策事業

議員の学校

| 日程 | 内 容 |
|-------|--|
| 2 時間目 | 議員に聞いてみよう ～議員活動の実際～ ① 選挙制度の概要 ② 選挙費用等 ③ 議員活動の実績 ■ 議員からの説明 ・ 議員になった動機、議員と仕事の両立等 |
| 3 時間目 | 傍聴してみよう ～議会運営委員会～ ・ 議会運営の流れ、委員会の役割、審議内容等 ・ 質疑応答 |
| 4 時間目 | 傍聴してみよう ～一般質問編～ ・ 一般質問の定義、目的、実践手法 ・ 質疑応答 |



13

● 議員のなり手対策事業

議員の学校

| 日程 | 内 容 |
|-------|--|
| 5 時間目 | 傍聴してみよう ～予算審査特別委員会～ ・ 特別委員会の運営、役割、審議内容等 ・ 質疑応答 |
| 6 時間目 | ・ 体験してみよう ～模擬議会～ (希望者のみ) ・ 閉校式 |



受講者19名のうち 栗山町議会議員 立候補 3名
 当 選 3名



14

【参考】「議員の学校」受講者

受講者の年代別・性別構成

| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 合計 | 平均 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 男 | 1人 | 1人 | 5人 | 7人 | 1人 | 2人 | 17人 | 51.1歳 |
| 女 | 0人 | 1人 | 0人 | 0人 | 0人 | 1人 | 2人 | 56歳 |
| 合計 | 1人 | 2人 | 5人 | 7人 | 1人 | 3人 | 19人 | 51.6歳 |

<参考> 町内受講者

| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 男 | 0人 | 1人 | 3人 | 5人 | 0人 | 1人 | 10人 |
| 女 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 1人 | 1人 |
| 合計 | 0人 | 1人 | 3人 | 5人 | 0人 | 2人 | 11人 |

パネルディスカッション 資料

狩野 浩志 氏

群馬県議会議員

群馬県議会における 若者の政治への関心を 高める取組について

令和5年11月13日 地方議会活性化シンポジウム

群馬県議会議員 狩野 浩志

1

取組の背景

- ・公職選挙法の改正により選挙権年齢が引き下げられたことを契機に、若者に政治や議会への関心を高めってもらうため、取組を開始。
- ・内容については、主に議会基本条例推進委員会で検討・協議の上、実施している。

【主な取組】

平成27年～ ぐんまシチズンシップ・アカデミー
平成29年～ G A C H i 高校生^ガ×^チ県議会議員^{かける}
令和 2年～ 議員に密着ゼミナール

2

ぐんまシチズンシップ・アカデミー

- ・大学生による一般質問傍聴と、議員との意見交換会を組み合わせた事業。
- ・大学によって参加しやすい時期が異なるため、第3回前期定例会（9月）と第1回定例会（2月）に実施。
- ・対面を基本として実施しているが、コロナ禍においてはテレビ・インターネット中継等で一般質問の様子を視聴してもらい、オンラインで議員との意見交換を実施した。

3

実施の様子



一般質問を傍聴する様子

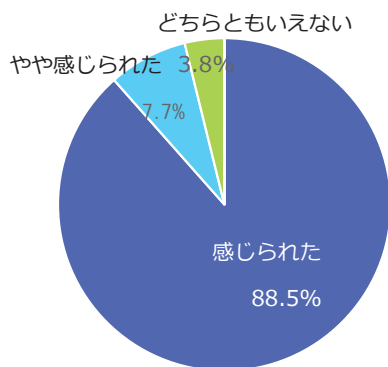


傍聴後、議員2人に対し学生5人ほどのグループに分かれ議員と意見交換を実施。

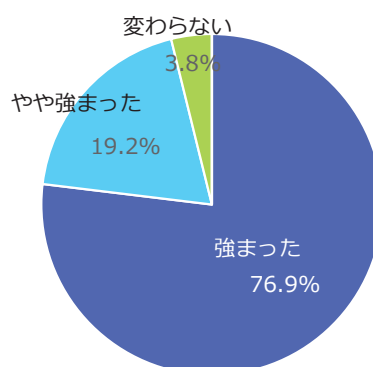
4

参加学生アンケートの結果より①

1 「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」を経験して、議員・県議会を身近に感じられるようになりましたか。



2 「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」への参加を契機に、選挙に行くべきとの気持ちが強まりましたか。



※令和5年度第1回実施アンケートより
(参加者：26人 回答：26人 回答率：100%)

5

参加学生アンケートの結果より②

- ・ 正直、政治家の方々は少し遠い存在で、堅苦しいイメージがありましたが、今回のイベントを通して身近に感じたとともに、自分の意見を、選挙を通じて発信することの大切さを感じました。
- ・ 議員さんと対面で話し、問題点、対策の意見交換をしたことにより、政治への関心が湧きました。
- ・ 議員さんと話すとても貴重な機会でした。私たちの意見や発言にきちんと答えてくださり、ありがたかったです。
- ・ 政治に対して興味が高まったので、これからも政治について学びを深めていきたいと思った。

※令和5年第1回アンケート 自由記入欄より抜粋

6

ガチ かける GACH i 高校生×県議会議員

※GACH i・・・群馬県議会アクティブ・シチズンシップ・ハイスクールの頭文字

- ・ 議員が高校等を訪問し、議員による政治や議会についての解説と、生徒との意見交換を行う事業。
- ・ 私立・特別支援学校を含めた県内全高校に案内を出し、希望のあった高校で実施。
- ・ 全ての党（会）派の議員が参加し、テーマを設けずに「ガチ」で高校生との意見交換を実施している。
- ・ 高校生との意見交換を踏まえ、一般質問に取り上げる議員も複数出ている。

7

実施の様子



議員による解説と○×クイズに答える生徒の様子。

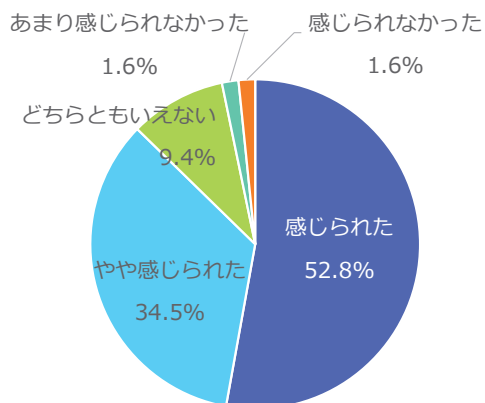


生徒の質問に答える議員。
特にテーマは設けず、生徒からの
どんな質問にも回答。

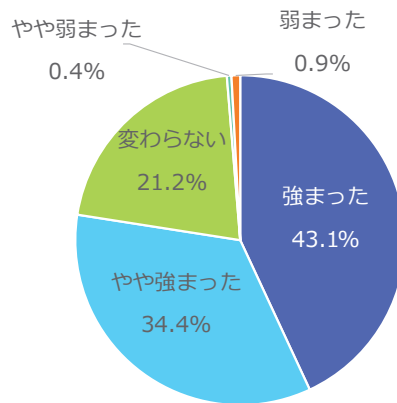
8

生徒アンケートの結果より①

1 今回参加して、議員・県議会を身近に感じられるようになりましたか。



2 今回参加して投票に行こうという気持ちが強まりましたか。



※令和4年度実施アンケートより
(参加者：2,624人 回答：2,468人 回答率：94%)

生徒アンケートの結果より②

- ・話を聞く前は議員の人に対して、堅苦しいイメージがあったが、話を聞いて、議員の方々が身近に感じ、より政治について興味が沸いた。
- ・来年には投票権が手に入るので選挙の際は毎回必ず選挙に行こうと思いました。政治や参政権についての意識や知識も深まったので、来年から積極的に政治に参加していきたい。
- ・普段の生活ではあまり馴染みのなかった議会という存在について、少し身近に感じられるようになった。選挙に積極的に参加する風潮を広げる一助となれるよう自分も選挙に積極的に参加したいと思う。

※令和4年度実施アンケート 自由記入欄より抜粋

議員に密着ゼミナール

- 3人の議員が大学を訪問し、学生と意見交換を行う事業。
- 高崎経済大学と協力し、地域政策学部における「現代政治論」の履修者を対象として実施。
- 対面を基本として実施しているが、コロナ禍においては大学の授業がオンラインだったため、議員もオンラインで参加し、学生と意見交換を実施した。

11

実施の様子



議員が特定のテーマについて学生の前で考えを発表。その後、学生からの質問に答える形で、意見交換を実施。

12

【参考】これまでの実施結果等①

ぐんまシチズンシップ・アカデミー

| 実施年度 | 参加大学数 | 参加学生数 | 参加議員数 |
|------|-------|-------|-------|
| 平成27 | 4 | 60人 | 延べ24人 |
| 28 | 4 | 66人 | 延べ22人 |
| 29 | 7 | 73人 | 延べ18人 |
| 30 | 6 | 37人 | 延べ14人 |
| 令和元 | 9 | 71人 | 延べ28人 |
| 2 | 6 | 34人 | 延べ16人 |
| 3 | 6 | 38人 | 延べ14人 |
| 4 | 6 | 40人 | 延べ18人 |

令和2年度及び3年度は、コロナの影響によりオンラインでの実施あり。

GACHi 高校生×県議会議員

| 実施年度 | 実施高校数 | 参加生徒数 | 参加議員数 |
|------|-------|--------|-------|
| 平成29 | 8校 | 701人 | 延べ31人 |
| 30 | 8校 | 987人 | 延べ37人 |
| 令和元 | 12校 | 1,645人 | 延べ40人 |
| 2 | 5校 | 538人 | 15人 |
| 3 | 13校 | 1,519人 | 延べ47人 |
| 4 | 20校 | 2,624人 | 延べ55人 |

令和2年度及び3年度は、コロナの影響により申込みをいただいたが中止となったケースあり。

13

【参考】これまでの実施結果等②

議員に密着ゼミナール

| 実施年度 | 参加学生数 | 参加議員数 |
|------|-------|-------|
| 令和2 | 125人 | 3人 |
| 3 | 134人 | 3人 |
| 4 | 203人 | 3人 |

令和2年度については、コロナの影響により大学の授業がオンライン実施だったため、議員もオンラインで参加し、学生と意見交換を実施。令和3年以降は対面で実施。

群馬県議会におけるこれまでの取組は、議会ホームページからも御確認いただけます

- 若者の政治への関心を高める取り組み

<https://www.pref.gunma.jp/site/gikai/list22-137.html>



14

ご清聴ありがとうございました



パネルディスカッション 資料

菅沼 芳徳 氏

静岡県御殿場市議会議長

未来議会プロジェクト

～開かれた議会を目指して～

御殿場市議会

地方議会活性化シンポジウム
令和5年11月13日

御殿場市の紹介

- 人口：84,371人
(令和5年9月30日現在)
- 観光交流客数：1,376万人
(令和4年度)
- 宿泊者数：113万人
(令和4年度)
- 市議会議員定数：21人
- 議員平均年齢：約66歳

プレミアムアウトレット

平和公園（仏舍利塔）

1. 事業実施の背景・目的

- ▶ 平成28年に行われた市議会議員選挙が無投票となった。



- ▶ 市民からは「市議会議員は市民の審判を受けていない」、「市議会議員は何をやっているのかわからない」との声が多く聞かれる。



- ▶ 市議会議員は、多くの候補者の中から市民に選んでもらわなければならない。
- ▶ 市議会議員の活動を多くの市民に知ってもらう必要がある。



- ▶ 開かれた議会を目指し、市民に議会活動を理解していただき、関心を持っていただくことで、議員の成り手不足の解消に繋げる。

2. 取組み その1

明治大学との パートナーシップ協定

- ▶ 平成30年10月議会改革などに関するパートナーシップ協定を明治大自治体政策経営研究所と結ぶ。
- ▶ 市議会の政策課題について、大学側からアドバイスを受けるなど、議会機能の充実と議員の資質向上をはかる事を目的とする。



2. 取組み その1

明治大学との パートナーシップ協定

- ▶ ○ 市民を対象とした講演会の実施
- ▶ 明治大学教授を招聘し、議員と市民を対象に「市民と共に歩む市議会のこれから」と題し講演会を開催した。市議会の役割、課題、今後の方向性などについて、講義をしていただき、市民とともに議会を考える機会とした。

3. 取組み その2

若者との意見交換

- ▶ ○ 高校生議会
- ▶ 議場で、高校生が行政について教育や福祉、観光などの分野ごとに研究をした成果を発表し、その後高校生から質疑を受け、議員が当局役で答弁をするスタイルで実施した。高校生が議会の体験を通じて議会への関心や議員という仕事に興味を持っていただくことを目的とした。



3. 取組み その2

若者との意見交換

- ▶ ○ 高校の授業での講義・意見交換
- ▶ 議員が高校に赴き、政治経済の授業の中で、議員について話をし、その後グループに分かれ、意見交換を行った。議員の役割について語り掛け、少人数で直接議員と話をすることで、議員を身近に感じてもらうことを目的とした。





3. 取組み その2

若者との意見交換

- ▶ ○ 高校生の研究発表と意見交換
- 高校生が学校の探究学習の中で研究・取りまとめをしたことを議員に対し発表し、その後グループごとに研究成果をさらに発展させる手法などを議員と話し合う。高校生の提案をどのようにしたら実現できるかなどを議員と学ぶことで、行政と議会の仕組みを理解し、興味を持っていただくことが目的。





3. 取組み その2

若者との意見交換

- ▶ ○ 大学生の研究発表と意見交換
- パートナーシップ協定による事業の一環として、大学のゼミで地方自治の研究をしている2つの大学の学生がお互いのゼミの研究発表を行い、議員と学生が意見交換を行う。議会の仕組みを学生に理解してもらうとともに、若い人が行政に求めるものなどの意見を聞くことで、議員の今後の活動に活かしていく。





4. 取組み その3

御殿場市議会政治塾

- ○ 御殿場市議会政治塾とは.....
- 行政や議会に関心がある方や議員に興味はあるが、立候補することには躊躇している方などを対象に、議会や選挙などの説明や議員との意見交換をとおして、議会への参加を促し、議員への立候補の背中を押してあげる事業。

4. 取組み その3

御殿場市議会政治塾

- ○ 事業内容
- ・ 議員から議会の仕組み（本会議、委員会、政務活動等）の説明
- ・ 選挙管理委員会から立候補手続きや選挙運動等の説明
- ・ グループに分かれ、市議会議員との意見交換
- ・ （参加者からの質問、議員からのアドバイス）





5. その他の取組み

- ○ **傍聴時託児サービス**
- 小さなお子さんが居る子育て世代の方にも、議会の託児サービスを利用して、気軽に議会の傍聴をしていただき、議会に関心を持っていただくことを目的とする。
- ○ **議会カフェ**
- 行政や議会の課題や疑問点などについて、市民から生の声を聞くため、飲み物やお菓子をつまみながら、カフェに居る雰囲気の中で議員と意見交換を行う。





6. 御殿場市議会のこれから

- ▶ 当市議会は令和6年2月に改選があり、現在の未来議会プロジェクトは一旦終了する。



- ▶ まずは次の市議会議員選挙に多くの候補者が出てくれて、活発な選挙が行われることが、本事業の1つの成果になる。



- ▶ 改選後も新たな期の議員が、より開かれた議会を目指し、積極的に情報発信・情報収集をして、市民と一緒に考える議会としていかなければならない。

パネルディスカッション 資料

益子 純恵 氏

栃木県那珂川町議会議長

女性のチカラで地方を元気に

私はこうして議員になった

～ 3児の母・経営者・議員の顔を持つ、“三刀流”女性議員～

栃木県那珂川町議会議長 益子純恵

1

本日、お話ししたいこと…

1 はじめまして

(自己紹介、那珂川町議会の紹介 など)

2 議員になった“きっかけ”

(議員になるまでエピソード、出来事 など)

3 議員としての活動

(選挙運動、議員活動、議会活動 など)

4 なぜ女性議員が少ないのか

(理想と現実、日常生活の変化 など)

5 これからの議会・議員に求められること

(女性議員の必要性、求められること など)

2

はじめまして

3

ましこ すみえ

益子純恵（那珂川町議会 議長）

○プロフィール

- ▶ 昭和54年（1979）1月13日生まれ。栃木県大田原市出身。
- ▶ 国際医療福祉大学保健学部卒業後、県内の脳神経外科病院に勤務
- ▶ 平成14年に、結婚を機に、那珂川町（旧馬頭町）へ
- ▶ 平成23年に、「デイサービスセンター咲楽」を開所（施設長）
- ▶ 夫（自営業）、3人の息子（19歳、17歳、7歳）、柴犬と5人暮らし

○議員略歴

- ▶ 平成29年（2017）の議員補欠選挙で初当選
- ▶ 平成30年（2018）の町議選で当選（2期目）
- ▶ 令和4年（2022）の町議選で当選（3期目）
- ▶ 令和4年5月から、議長に就任
- ▶ 令和5年2月に全国町村議会議長自治功労者表彰受賞
- ▶ 令和5年7月から「町村議会議員のなり手不足対策検討会」委員



1 はじめまして

4

○那珂川町議会の紹介

- ▶ 定数13名（男性11名、女性2名）※平均年齢：62.8歳
- ▶ 定例会（年4回）※町のケーブルテレビで生中継
- ▶ 議会だより（年4回発行）
- ▶ 議会報告会（年1回開催）、高校生との意見交換会
- ▶ 常任委員会（総務産業、教育民生）
- ▶ 特別委員会（広報委員会、議会改革）



議会だより なかがわ第71号（令和5年5月10発行）

○那珂川町の紹介

- ▶ 町の総人口 14,633人（R5.10.1現在）※過疎地域に指定
- ▶ 特産品（那珂川の鮎、うなぎ、そば、八溝ししまる、小砂焼 など）
- ▶ 主な施策（エミナール那珂川、ウェルフルなかがわ、ケーブルテレビ全線光化 など）
- ▶ 観光名所（温泉、馬頭広重美術館、カタクリ山公園、飯塚邸（国登録有形文化財））

「旅色」を発行（スペシャルナビゲーター：[桜庭みなみさん](#)）

電子雑誌
はこちら



公開動画
はこちら



議員になった“きっかけ”

●エピソード1（これまでの日常、新しい考え方）

- ☞ 政治への関心（私自身は特になし） Point 夫婦の会話＝政治・地域の課題
- ☞ 女性に厳しい社会の現実 Point 正規雇用からパートタイムへの変更
- ☞ 「妊娠・出産・子育て」する女性の社会での活躍 Point 雇用者・経営者の2つの視点

●エピソード2（転換期）

- ☞ デイサービスセンター咲楽を開所 Point 家庭から社会へ
- ☞ 家族で遊びに出かけた先で Point 子ども同士の会話
- ☞ 人口減少・少子化を肌で感じる
Point 長男→次男→三男までの出産・育児

●エピソード3（立候補の決心）

- ☞ 町議会の**補欠選挙**（H29.10月） Point 夫からのひと言
- ☞ 選挙当日まで**わずか1か月** Point 勢い



施設の利用者とふれあう三男

議員としての活動

選挙運動



三男（1歳）をおんぶして事前審査へ臨む

●選挙ってどうやるの？

- ☞ 教えてくれる人は・・・市販の本（2冊）
- ☞ 役場の窓口で手続きを確認
- ☞ 選挙CARに子どもを乗せられる？
- ☞ 演説の合間に自宅へ戻って授乳
- ☞ 演説は夕方5時まで
- ☞ 女性議員としての役割を実感



益子すみえ便り



選挙演説の様子

議員活動

●一般質問

- ☞ 身の周りにある身近な課題をテーマに（子育て、移住定住、教育、高齢者支援、介護予防等）
- ☞ 一般質問は休まず（年4回）
- ☞ 質問項目は、最低でも3つ

●ひとりでの議員視察

- ☞ 議員視察を欠席
- ☞ 先輩議員と同じものを見なくては
- ☞ ひとりで視察先を訪問



一般質問！ 益子純恵議員



益子純恵議員

この町で子供を産み、育てる魅力としてお祝いの制度を
（子育て支援課長）現物給付的なサービスの中で
第3子以降に上乗せ支援を検討したい

切れない子育てに危機を
「子育て世代包括支援セン
ター」を広く周知するため、公募
などで募集をつけ、相談しやすい
環境を作る必要があるのではな
いか。
「子育て世代包括支援セン
ター」は、子育て世代の悩みを
解決するための窓口として、各
自治体で整備が進んでいます。
「子育て世代包括支援セン
ター」は、子育て世代の悩みを
解決するための窓口として、各
自治体で整備が進んでいます。

も出会い、結婚をサポートできる
体制を整えるべきではないか
「子育て世代包括支援セン
ター」は、子育て世代の悩みを
解決するための窓口として、各
自治体で整備が進んでいます。
「子育て世代包括支援セン
ター」は、子育て世代の悩みを
解決するための窓口として、各
自治体で整備が進んでいます。

小学生への入学支援
「入学支援」は、入学準備の
ため、入学前までに入学準備
金や入学料を支払う必要がある
が、経済的に困難な家庭には
入学準備金や入学料を支払う
ことができない場合がある。
「入学支援」は、入学準備の
ため、入学前までに入学準備
金や入学料を支払う必要がある
が、経済的に困難な家庭には
入学準備金や入学料を支払う
ことができない場合がある。

通学路の安全性を
「通学路の安全性」は、通学
路の安全性を確保するために、
通学路の安全性を確保する
必要がある。
「通学路の安全性」は、通学
路の安全性を確保するために、
通学路の安全性を確保する
必要がある。



狭くて見通しの悪い通学路

この町で子供を産み、育てる魅力としてお祝いの制度を
（子育て支援課長）現物給付的なサービスの中で
第3子以降に上乗せ支援を検討したい
小学生への入学支援
「入学支援」は、入学準備の
ため、入学前までに入学準備
金や入学料を支払う必要がある
が、経済的に困難な家庭には
入学準備金や入学料を支払う
ことができない場合がある。
「入学支援」は、入学準備の
ため、入学前までに入学準備
金や入学料を支払う必要がある
が、経済的に困難な家庭には
入学準備金や入学料を支払う
ことができない場合がある。
通学路の安全性を
「通学路の安全性」は、通学
路の安全性を確保するために、
通学路の安全性を確保する
必要がある。
「通学路の安全性」は、通学
路の安全性を確保するために、
通学路の安全性を確保する
必要がある。

議会活動



① 高校生との意見交換



② 議会報告会



③ 議会広報モニター



④ 馬頭高校存続要望

① 高校生との意見交換会

☞ 今年度は議場で開催

② 議会報告会 (町民と議会との意見交換)

☞ 今年度は「若い世代(40代まで)」を対象に開催

③ 議会広報モニター

☞ 議会だよりのモニタリング
(写真は懇談会の様子)

④ 馬頭高校存続要望

☞ 県教育委員会へ存続を要望

⑤ その他

☞ 行政調査、団体との意見交換、
所管事務調査 など

議長としての活動



県営処分場エコグリーンとちぎ完成式典

今年の9月に運営が開始された、県営処分場エコグリーンとちぎの完成式典。式典では、主催者である栃木県知事のほか、福島町長や佐藤栃木県議会議長らとともに登壇し、町議会を代表してあいさつ。



鮎のつかみ取り2023

今年の8月に町内を流れる那珂川で開催された「鮎のつかみ取り2023」。炎天下のもと、参加者に配られたサンバイザーを付けて来賓あいさつ。その後、一緒に参加した三男と川入り鮎のつかみ取りへ。



地域コミュニティ食堂

今年の10月に行われた地域コミュニティ食堂。同じ子育ての環境下にある、町の地域おこし協力隊員からお誘いを受けて、三男と一緒に参加。地域の方や子育てをしている方々と交流しました。

なぜ女性議員が少ないのか

13

4 なぜ女性議員が少ないのか

理想と現実（高いハードル）

<理想>

社会がこうなったらイイのに…

日常生活 子育て 教育 まちづくり

感じているものはある

議員になってまちをよくしたい…

<高いハードル>

家族の理解 選挙運動 行動力 調査・勉強

心身の余裕がない
時間的な余裕がない

なぜ、高いハードルが存在するのか…

<議員になるために不足しているもの>

学校がない 予備知識 年齢制限 情報が少ない
(一般向け)

行動力で差が出る

14

日常生活の変化（議員になってから）

| 議員になる前 | 議員になってから |
|---|--|
| 朝（家事）朝食の準備 （育児）子ども園の送迎 （仕事）デイサービス 昼（仕事）デーサービス （育児）子ども園の送迎 夜（家事）夕食の準備・後片付け 家族団らん | （議会）県外出張（視察など） 朝（家事）朝食の準備 →夫・息子へ （育児）子ども園の送迎 →9時に役場 （議会）定例会・委員会（10時） （仕事）デイサービス →従業員へ 昼（仕事）デーサービス →従業員へ （育児）子ども園の送迎 →最後に迎え 夜（議会）県外出張、懇親会 （家事）夕食の準備 →夫・息子へ 家族団らん →少 or 無 |
| 家事 + 育児 + 仕事 | 家事 + 育児 + 仕事 + 議員活動 |

これからの議会・議員に求められること

女性議員の必要性とは

◆女性議員のメリット

- ☞ 女性目線での政策提案が可能
- ☞ 女性ならではの町民とのふれあい
- ☞ 議員活動は様々な面でよい影響

必要性は高い
参画を促すこと

◆女性が議員になるための課題

- ☞ 家事・育児との両立
- ☞ 家族の理解
- ☞ 最初の一步が踏み出せない

1人では解決できない
挑戦しやすい環境

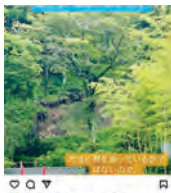
議会・議員に求められること

○議会全体として…

なり手不足対策 → 若者の参画 → 議会活動の見える化、身近な議会
議員報酬の見直し → 適正な報酬とは、議論に時間がかかる



町村議会議員のなり手不足対策検討会



自身のSNS

○議員個人として…

女性議員の必要性のPR → 情報発信（SNS等）
これからの社会をつくる仲間づくり → 地道な活動

○社会全体として…

若者・女性の参画 → 参画しやすい環境づくり
(制度改革、支援体制 など)



馬頭中学校学校運営協議会

これまでのアプローチでイイのか

そもそも…

- Q. 議員のなり手不足って「誰が」困るの？
- Q. なぜ、女性議員が少ないとダメなの？
- Q. 議員になりたい人ってどのくらいいるの？
- Q. 議員は何をするの？（役割・活動内容は？）
- Q. どうすれば議員になれるの？
- Q. 議員のやりがいって？
- Q. 企業は自社の利益のためにPRするけど、
議員のPRって誰のためにやるの？

ご清聴ありがとうございました。



